

具体的な事例から学ぶ

No.31

【ケーススタディ】

教職員課 学校管理班

考えてみましょう
(学校の設定は、
フィクションです。)

<Case.1>

- あなたの勤務する高校の懇親会開催前の「帰宅方法のチェック」で、同僚のY教諭は「代行運転」を選択していた。
 - 当日、Y教諭は運転代行に車を預けて会場にきたが、懇親会終了時、泥酔状態で歩けなくなっていた。
 - あなたは幹事から、運転代行に連絡を取り、Y教諭を運転代行の車に乗せてほしいと頼まれた。
- ① あなたは、どのように対応しますか。
 - ② この状況にはどのようなリスクがあると思いますか。

①の回答

②の回答

①の回答例

- Y教諭の家族等に連絡を取り、迎えを依頼する。
- Y教諭の家族等に連絡を取り、近隣の宿泊施設に泊まらせることのできることを得る。
- Y教諭と同じ方面に帰宅する飲酒していない教員に送迎を依頼する。
- 状況により、救急車を要請する。
- 管理職に相談する。

②の回答例

- 泥酔したY教諭が、判断力の低下により、自宅近くで代行運転を断り、自分で運転する。
- 泥酔したY教諭が、帰宅した後、飲酒運転を行う。

懇親会開催時の対応のポイント

- 日常から、度を過ぎない節度ある適量飲酒をわきまえましょう。
- 飲酒を伴う場に参加する場合、原則として自家用車等（自転車を含む）で会場に行かないようにしましょう。
- 事前の交通手段の確認、翌朝の運転時間から逆算した飲酒単位数の計算、参加者相互によるハンドルキーパーや帰宅方法の最終確認などを行いましょよう。
- 翌朝も市販のアルコールチェッカーを活用するなど、二日酔い運転の未然防止策も徹底しましょよう。

<Case.2>

- あなたは、担任する生徒Tが不登校となったため、生徒Tの自宅に、自分の携帯電話から毎日電話をかけていた。
- ある日、生徒Tの携帯電話から、あなたの携帯電話に、1対1で相談に乗ってほしいとショートメールが来た。

- ① あなたは、どのように対応しますか。
- ② この状況にはどのようなリスクがあると思いますか。

①の回答

②の回答

①の回答例

- 管理職に許可を取った上で返信し、Teams上のやり取りに変更することと副担任又は第三者アカウントを入れてやり取りをすることを、生徒Tに依頼する。
- 生徒Tの自宅（保護者が在宅の状況）や学校（他の生徒がいない環境）において直接話すことを提案する。※1対1で話す場合は管理職等に報告しておく。

②の回答例

- 最初は教育相談であったが、次第に私的なやり取りが始まり、徐々に嫌悪感を抱き始めた生徒Tから、保護者を通じて管理職に通報される。

児童生徒との連絡等の対応のポイント

- 児童生徒との私的アカウントでのやり取りは、「減給又は戒告」処分の対象です。1回の私的なやり取りであっても、懲戒処分の対象となります。
- やり取りに性的な表現が含まれていた場合、「児童生徒性暴力等（悪質なセクハラ）」に該当する可能性があり、その場合は「懲戒免職」となります。
- 児童生徒の個別相談を受けたり、個別指導を行ったりする場合には、管理職や同僚に告げてから対応するなど、適切な対応をしましょう。

教育は、信頼関係の上に
成り立つものです。

どの学校においても、決して不祥事
が起こらないように、一人ひとりが
当事者意識を持ち、互いに守り支え
合う職場環境づくりを進めましょう。